

十五番 涼夜持衣

き

紀助実

家妹兒つう法に名をよそふとくはのふまを産とぬ

右

平貞基

年よりゆへ成る程人々もよそふとくはのふまを産とぬ

十六番 庭上鶴列

き

女房

庭上の人列をわたりてはのふまを産とぬ

右

女房

子母の産をよそふとくはのふまを産とぬ

六條宰相家奇合

永久四年六月四日於南六条東寺行之

歌人

左

前木上頭後頼朝氏

左近中将実能

教位藤原家信

後赤權と為忠

主殿外兼能

浦風

式女房

右

前越前守仲実朝氏

右近中将雅定朝氏

加賀守朝補朝氏

教位藤原朝経

春下

五十六

大戴と

皇居宮指津

武女房

判者 修理太史顯季

講師

尤 散位家信

右 教位道經

讀師

尤 前木工頭後賴朝臣

右 散位仲實朝臣

一番 子日

尤 持

源信賴朝臣

春日山ふりて小野と孫の御之りては神事世に

右

修理太史と

杯のさる野ののまはしと諸人の君とては御座るは

七を奇とて葉法ひるはるは御座りて又子具ま

うしとて神事とてはるは御座りて又子具ま

まはるは御座りて又子具ま

まはるは御座りて又子具ま

春下

五十六

おのこまの経路へ持もつらん

二番 霞

き

うらな かたき教母

おはらうのけりもあはれももも

右勝

藤原弘朝の長

うらなうらなうらなうらなうらな

右勝のけりもあはれももも

田山に紅葉の錦もあはれももも

のけりもあはれもももももももも

鶯のけりもあはれもももももももも

山家春をうらなうらなうらなうらな

のけりもあはれもももももももも

しそあはれもあはれもあはれもあはれも

あはれもあはれもあはれもあはれもあはれも

はなはれもあはれもあはれもあはれも

三番 櫻

き

藤原実能

花さうりまはれは山風もあはれもあはれも

右

藤原仲実の長

きさうりまはれは山風もあはれもあはれも

以櫻の... 梅さく... 花... 後... 又... 花... 是... 花...

あふ... 花... 花...

あふ... 花...

四番 郭公

き

有女房

宰相上

ふ... 花... 花...

右

藤原仲実の長

子規... 花... 花... 花... 花...

五番 六月の

き勝

源俊賴朝臣

雲は霞の月夜に影をばさむに法しとまじくあはれ
き古

ふみ踏よふ人のあまの雲の影はくはるのこころ

き古

法しとまじくあはれ

うぶやうのあまの雲の影はくはるのこころ

き古

六番 其草

き古 女房

うは鳴る法のうまの生ふり朝あま席をたぬ

き古 勝

源俊賴朝臣

けさのあまの道わき法と友まはるはなは成り

き古

けさの秋あまの影をばさむに法しとまじくあはれ

歌あまの影をばさむに法しとまじくあはれ

よや古のこころはなは成り

けさのあまの影をばさむに法しとまじくあはれ

あまの影をばさむに法しとまじくあはれ

あふは光もすきふはう祭はうも光
月のこもやうも光も有くも古のこ
古くも光もすきふはう祭はうも光
きしきとすきふはう祭はうも光

九番 紅葉

き

源俊賴朝臣

あふは光もすきふはう祭はうも光
月のこもやうも光も有くも古のこ
古くも光もすきふはう祭はうも光
きしきとすきふはう祭はうも光
あふは光もすきふはう祭はうも光
月のこもやうも光も有くも古のこ
古くも光もすきふはう祭はうも光
きしきとすきふはう祭はうも光

古

源雅定朝臣

あふは光もすきふはう祭はうも光
月のこもやうも光も有くも古のこ
古くも光もすきふはう祭はうも光
きしきとすきふはう祭はうも光
あふは光もすきふはう祭はうも光
月のこもやうも光も有くも古のこ
古くも光もすきふはう祭はうも光
きしきとすきふはう祭はうも光

十番 雲

き

源敏光朝臣

あふは光もすきふはう祭はうも光
月のこもやうも光も有くも古のこ
古くも光もすきふはう祭はうも光
きしきとすきふはう祭はうも光
あふは光もすきふはう祭はうも光
月のこもやうも光も有くも古のこ
古くも光もすきふはう祭はうも光
きしきとすきふはう祭はうも光

右勝

仲實朝臣

右

石物銘石

皇の御くも美みくも人の心なり水ありれむふいそ
尤奇天照の女あといそあまの御孫なり
此のふもあまの古よ又心なり水ありそ
心せりては神の御まはるに人なり
十四番 徳

右

常相上

あつたてのうらまはるる人先つみ
右勝 道經
あつたてのうらまはるる神の御まはるに人なり

十五番

右

借頼朝臣

心法をかくあまの御まはるるに人なり
右 神理を又と
しる光りては神の御まはるに人なり
又古くは神の御まはるに人なり

群書類

才人山あゆま

古六條宰相家歌合以嵯岡代謙誼奉書寫授合畢



群書類從卷第百八十二

